

教科	算数	学年	第 1 学年
----	----	----	--------

単元名	単元の到達目標 (小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1. なかまづくりと かず	○10 までの数について、個数の比べ方や数の読み方、書き方。数の構成などを理解し、数のまとまりに着目して数の大きさの比べ方や数え方を考える力及び数の構成に着目して数を多面的に捉える力を養うとともに、数に親しみ、数で表すこと及び比べることの良さや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。	○10 までの数について、1 対 1 対応により集合の要素の個数を比べる方法や数の読み方、書き方、数の構成などを理解し、集合の要素の個数を比べたり、数を正しく数え数字を読んだり書いたり、数の合成、分解をしたりすることができる。	○数のまとまりに着目し、数の大きさの比べ方や数え方を考え言葉やブロックなどを用いて表現したり、数の構成に着目し、一つの数をほかの 2 つの数の和や差として捉え言葉や半具体物などを用いて表現したりしている。	○数の比べ方を考えた過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
2. なんばんめ	○数を用いた順序の表し方を理解し、基点に着目して順序を考える力を養うとともに、数を用いて順序を表すことよさを感じ、日常生活に活用しようとする態度を養う。	○数を用いた順序や位置の表し方を理解し、数を用いて順序や位置を表すことができる。	○数を順序や位置を表すものとしてみて、基点に着目して順序や位置を考え、数を用いて順序や位置を表現している。	○数を用いて順序や位置を考えた過程や結果を振り返り、そのよさを感じながら学ぼうとしている。
3. あわせて いくつ ふえると いくつ	○加法の意味と和が 10 以内の加法計算の仕方を理解し、数量の関係に着目して加法の意味や加法計算の仕方を考える力を養うとともに、加法の意味や加法計算の仕方を操作や式に表して考えた過程を振り返り、そのよさを感じ、日常生活に活用しようとする態度を養う。	○合併や増加など、加法が用いられる場合について知り、加法の意味を理解し、和が 10 以内の加法計算ができる。	○加法の意味に着目し、合併や増加などの場面を加法の式に表し、その計算の仕方を 1 位数の構成や操作などを用いて考え、表現している。	○加法の意味や加法計算の仕方について、数構成や操作などを用いて考えた過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。

単元名	単元の到達目標 (小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4. のこりは いくつ ちがいは いくつ	○減法の意味と被減数が 10 以内の減法計算の仕方を理解し、数量の関係に着目して減法の意味や減法計算の仕方を考える力を養うとともに、減法の意味や減法計算の仕方を操作や式に表して考えた過程を振り返り、そのよさを感じ、日常生活に活用しようとする態度を養う。	○求残や求補、求差など、減法が用いられる場合について知り、減法の意味を理解し、被減数が 10 以内の減法計算が確実にできる。	○減法の意味に着目し、求残や求補、求差などの場面を減法の式に表し、その計算の仕方を数の構成や操作などを用いて考え、表現している。	○減法の意味や減法計算の仕方について、数構成や操作などを用いて考えた過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
5. どちらが ながい	○長さの比較などの活動を通して、長さや測定についての基礎的な意味を理解し、身の回りにあるものの長さについて任意単位などにより比較する力を養うとともに、長さについての感覚を豊かにし、日常生活に活用しようとする態度を養う。	○長さについての基礎的な意味や、比較の方法、任意単位による測定の方法を理解し、長さについての基礎的な感覚を身につけ、直接比較や関節比較、任意単位による測定などによって、長さを比べることができる。	○身の回りにあるものの長さに着目して、直接比較や関節比較、任意単位による長さの比べ方を考えたり、任意単位により長さを数値で表したりしている。	○身の回りにあるものの長さに関心をもち、比較の方法を工夫した過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
6. わかりやすく せいりしよう	○ものの個数について簡単な絵や図に表す方法を理解し、データの個数を簡単な絵や図に表し、それらの特徴を読み取る力を養うとともに、簡単な絵や図を用いてデータの個数を表したり、とらえたりしたことを振り返り、日常生活に活用しようとする態度を養う。	○ものの個数を種類ごとに分類整理し、簡単な絵や図を用いて表したり読み取ったりすることができる。	○データの個数に着目し、身の回りの事象について簡単な絵や図を用いて特徴を捉えている。	○簡単な絵や図を用いて、データの個数を表したりその特徴を捉えたりした過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。

単元名	単元の到達目標 (小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
7. 10 より おおきい か ず	○40 までの数について、個数の数え方や数の読み方、書き方、数の構成などを理解し、10 をひとまとまりにして数の数え方などを考える力及び数の構成に着目して数の計算の仕方を考える力を養うとともに、数で表すことよさを感じ、日常生活に活用しようとする態度を養う。	○40 までの数について、個数の数え方や数の読み方、書き方、数の構成や大小などを理解し、40までの数を数え数字を読んだり書いたり、20 までの数の構成を加法や減法の式に表すことができる。	○10 のまとまりに着目し、40 までの数の数え方や読み方、書き方を考え、言葉やブロックなどを用いて表現したり、数の構成や既習の計算を活用して、20 までの数の繰り上がりや繰り下がりのない加減計算の仕方を考え、言葉やブロックなどで表現したりしている。	○数の構成を活用して数の数え方や加減計算の仕方を考えた過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
8. なんじ なんじはん	○何時、何時半の時刻の読み方を理解し、時計の短針と長針の関係を基に時刻の読み方や表し方を考える力を養うとともに、それらを日常生活に活用しようとする態度を養う。	○何時、何時半の時刻の読み方を理解し、何時、何時半の時刻を読んだり、時計で表したりすることができる。	○短針と長針の関係を捉えて、それぞれの針の位置を基に時刻の読み方を考え、表現している。	○時刻に関心をもち、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
9. 3 つの かずの けい さん	○3 つの数の加減計算の仕方を理解し、3つの数の加減計算の仕方を操作や式を用いて考える力を養うとともに、3 つの数の加減計算の式の表し方や計算の仕方を考えた過程を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。	○3 つの数の加減計算の場面を1つの式に表せることを理解し、その計算が確実にできる。	○2つの数の加法や減法を基にして、3 つの数の加減計算の式の表し方や計算の仕方を、操作や図を用いて考え表現している。	○3 つの数の加減計算について、式の表し方や計算の仕方を、操作や図を用いて考えた過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。

単元名	単元の到達目標 (小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
10. どちらが おおい	○体積の比較などの活動を通して、体積とその測定についての基礎的な意味を理解し、身の回りにあるものの体積について任意単位などにより比較する力を養うとともに、体積についての感覚を豊かにし、日常生活に活用しようとする態度を養う。	○体積についての基礎的な意味や、保存性、比較の方法、任意単位による測定の方法を理解し、体積についての感覚を身につけ、直接比較や間接比較、任意単位による測定などによって、身の回りにある入れ物に入る水の体積を比べることができる。	○身の回りにある入れ物に入る水の体積に着目して、直接比較や間接比較、任意単位による体積の比べ方を考えたり、任意単位により体積を数値で表したりしている。	○身の回りにある入れ物に入る水の体積に関心を持ち、比較の方法を工夫した過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
11. たしざん	○1 位数どうしの繰り上がりのある加法計算の仕方を理解し、計算の仕方を操作や図を用いて考える力を養うとともに、計算の仕方を操作や図を用いて考えた過程や結果を振り返り、そのよさを感じ、今後の学習や日常生活に活用しようとする態度を養う。	○1 位数どうしの繰り上がりのある加法計算が、「10 といくつ」という数の見方を基にしてできることを理解し、その計算が確実にできる。	○10 のまとまりに着目し、1 位数どうしの繰り上がりのある加法計算の仕方を、操作や図を用いて考え、表現している。	○1 位数どうしの繰り上がりのある加法計算の仕方について、「10 といくつ」という数の見方や操作、図などを用いて考えた過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
12. かたちあそび	○身の回りにあるものの形について、基本的な立体図形の特徴や機能を捉え、立体図形についての理解の基礎となる感覚を豊かにしながら、立体図形の形に着目して特徴や機能を捉えたり、構成や分解を考えたりする力を養うとともに、それらを日常生活に活用しようとする態度を養う。	○身の回りにあるものの形について、その概形や特徴、機能を捉えたり、構成や分解をしたりするとともに、図形についての豊かな感覚をもっている。	○身の回りにあるものの形に着目し、図形の特徴や機能を捉えたり、構成や分解をしたりして、表現している。	○身の回りにあるものの形について、観察や構成、分解したり、形の特徴や機能を捉えたりした過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。

単元名	単元の到達目標 (小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
13. ひきざん	○11～18 から 1 位数を引く繰り下がりのある減法計算の仕方を理解し、計算の仕方を操作や図を用いて考える力を養うとともに、計算の仕方を操作や図を用いて考えた過程を振り返り、そのよさを感じ、今後の学習や日常生活に活用しようとする態度を養う。	○11～18 から 1 位数を引く繰り下がりのある減法計算が、「10 といくつ」という数の見方を基にしてできることを理解し、その計算が確実にできる。	○数の構成に着目し、11～18 から 1 位数を引く繰り下がりのある減法計算の仕方を操作や図を用いて考え、表現している。	○11～18 から 1 位数を引く繰り下がりのある減法計算の仕方について、「10 といくつ」という数の見方や操作、図などを用いて考えた過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
14. おおきい かず	○2位数や簡単な3位数について、個数の数え方や数の読み方、書き方、数の構成などを理解し、10 を単位として数を捉える力及び数の構成に着目して数の計算の仕方を考える力を養うとともに、数で表すことのよさを感じ、日常生活に活用しようとする態度を養う。	○2位数や簡単な3位数について、個数の数え方や数の読み方、書き方、数の構成や大小などを理解し、120 程度までの数を数え数字で読んだり書いたり、2位数の構成を加法や減法の式に表すことができる。	○既習の数の表し方の仕組みを基に、120 程度までの数の数え方や読み方、書き方を考え、言葉やブロックを用いて表現したり、数の構成や既習の計算を活用して、簡単な場合の2位数の加減計算の仕方を考え、言葉やブロックなどで表現したりしている。	○数の構成を活用して数の数え方や加減計算の仕方を考えた過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
15. どちらが ひろい	○面積の比較などの活動を通して、面積とその測定についての基礎的な意味を理解し、身の回りにあるものの面積について任意単位などにより比較する力を養うとともに、面積についての感覚を豊かにし、日常生活に活用しようとする態度を養う。	○面積についての基礎的な意味や比較の方法、任意単位による測定の方法を理解し、面積についての基礎的な感覚を身につけ、直接比較や任意単位による測定などによって、身の回りにあるものの面積を比べることができる。	○身の回りにあるものの面積に着目して、直接比較や任意単位による面積の比べ方を考えたり、任意単位により面積を数値であらわしたりしている。	○身の回りにあるものの面積に関心をもち、比較の方法を工夫した過程や結果を昼帰り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。

単元名	単元の到達目標 (小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
16. なんじなんぷん	○何時何分の時刻の読み方を理解し、時計の短針と長針の関係を基に時刻の読み方や表し方を考える力を養うとともに、それらを日常生活に活用しようとする態度を養う。	○何時何分の時刻の読み方を理解し、何時何分の時刻を読んだり、時計で表したりすることができる。	○短針と長針の関係を捉えて、それぞれの針の位置を基に時刻の読み方を考えたり、時計盤の目盛りに着目して長針の読み方を工夫して考えたりして、表現している。	○時刻に関心をもち、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
17. たしざんとひきざん	○順序数や異種の数量を含む加減の場面、求大や求小の場面についても加減計算が適用できることを理解し、数量の関係を図に表し計算の意味を考える力を養うとともに、加減の意味を図に表して考えた過程を振り返り、そのよさを感じ、今後の学習に活用しようとする態度を養う。	○順序数や異種の数量を含む加減の場面、求大や求小の場面も加減の式に表せることを理解し、問題を解決することができる。	○数量の関係に着目し、順序数や異種の数量を含む加減の場面、求大や求小の場面を図や式に表して考え、表現している。	○順序数や異種の数量を含む加減の場面、求大や求小の場面を図に表して問題を解決した過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
18. かたちづくり	○身の回りにあるものの形について、基本的な平面図形の特徴を捉え、平面図形についての理解の基礎となる感覚を豊かにしながら、平面図形の形に着目して特徴を捉えたり、構成や分解を考えたりする力を養うとともに、それらを日常生活に活用しようとする態度を養う。	○身の回りにあるものの形について、その概形や特徴を捉え中空のものも中実のものと同じように見られることを理解し、色板や棒をならべていろいろなものの形を構成したり分解したりすることができる。	○身の回りにあるものの形に着目し、図形の特徴を捉えたり、いろいろな形を構成、分解したりして、表現している。	○身の回りにあるものの形について、形の特徴を捉えたり、構成、分解したりした過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。

教科	算数	学年	第 2 学年
----	----	----	--------

単元名	単元の到達目標 (小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1. わかりやすく あらわそう[グラフとひょう]	○簡単な表やグラフについて理解し、データを整理する観点を定め、簡単な表やグラフを通じて特徴を捉え、考察する力を養うとともに、表やグラフを用いて数学的に表現・処理したことを振り返り、今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	○身の回りにある数量を分類整理し、簡単な表やグラフを用いて表したり読み取ったりすることができる。	○データを整理する観点に着目し、身の回りの事象について表やグラフを用いて考察している。	○身の回りにある事象に関心をもち、表やグラフを用いて数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
2. たし算のしかたを考えよう[たし算のひっ算]	○2 位数の加法の筆算の仕方について理解し、筆算の仕方を図や式を用いて考える力を養うとともに、計算方法を数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	○2 位数の加法計算が、1 位数などについての基本的な計算を基にしてできることを理解し、その計算が確実にできるとともに、その筆算の仕方について理解している。	○数の仕組みに着目し、2 位数の加法計算の仕方を、図や式などを用いて考え表現している。	○2 位数の加法の筆算の仕方について、図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
3. ひき算のしかたを考えよう[ひき算のひっ算]	○2 位数の減法の筆算の仕方について理解し、筆算の仕方を図や式を用いて考える力を養うとともに、計算方法を数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	○2 位数の加減計算が、1 位数などについての基本的な計算を基にしてできることを理解し、その計算が確実にできるとともに、その筆算の仕方について理解している。	○数の仕組みに着目し、2 位数の減法計算の仕方を、図や式などを用いて考え表現している。	○2 位数の減法の筆算の仕方について、図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。

単元名	単元の到達目標 (小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4. 長さを はかって あ らわそう[長さのたんい]	○長さの測定などの活動を通して、単位の意味と測定の原理を理解し、単位を用いて的確に表現する力を養うとともに、長さについての量の感覚を身に付け、今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	○長さについて単位と測定の意味や、単位の関係、物差しのめもりの仕組みを理解し、およその見当を付け長さの単位を適切に選択して身の回りの物の長さを測定したり、指定された長さの直線を引いたりすることができる。	○普遍単位の必要性に気付き、身の回りのものの特徴を長さに着目して捉え、目的に応じた単位で長さを的確に表現したり比べたりしている。	○身の回りにあるものの長さに関心を持ち、量の感覚を身に付け、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気付き今後の生活や学習に活用しようとしている。
5. 100 より 大きい 数 を調べよう[3けたの数]	○1000までの数についてその意味や表し方を理解し、数の概念について理解を深め、図や式を用いて考える力を養うとともに、十進位取り記数法の仕組みを数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、そのよさに気付き今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	○3位数について数の読み方や表し方、数の構成や大小、順序、数の相対的な大きさを理解し、数を書いたり読んだり、数や式の大小・相等関係を、不等号や等号を用いて表したりすることができる。	○10や100のまとまりに着目し、十進位取り記数法の仕組みを考え表現したり、数を相対的な大きさからとらえたりしている。	○10や100のまとまりに着目して数を調べた過程や結果を振り返り、数理的な処理のよさに気付き今後の生活や学習に活用しようとしている。
6. 水の かさを はかっ て あらわそう [水の かさの はんい]	○体積について、測定などの活動を通して、長さの学習を基に単位の意味と測定の原理を理解し、単位をもちいて的確に表現する力を養うとともに、体積について量の感覚を身に付け、今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	○体積について単位と測定の意味や、単位の関係を理解し、およその見当を付け体積の単位を適切に選択して身の回りに入る入れ物に入る水の体積を測定することができる。	○長さの学習を基に、普遍単位の必要性に気付き、身の回りに入る入れ物の特徴をその中に入る水の体積に着目して捉え、目的に応じた単位で体積を的確に表現したり、比べたりしている。	○身の回りに入る入れ物に入る水の体積に関心を持ち、量の感覚を身に付け、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気付き今後の生活や学習に活用しようとしている。



単元名	単元の到達目標 (小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
7. 時計を生活に生かそう[時と時間]	○時刻と時間の概念、日、時、分の単位やそれらの関係を理解し、数学的表現を適切に用いて時刻や時間のもとのめ方を考える力を養うとともに、それらを今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	○時刻と時間の区別、及び日、時、分の単位やそれらの関係を理解し、時刻や時間を求めたり、表したりすることができる。	○時間の単位に着目し、図などを用いて時刻と時間の求め方を考え、説明している。	○時刻や時間に関心をもち、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
8. 計算のしかたをくふうしよう[計算のくふう]	○加法の結合法則、簡単な加減の暗算の仕方を理解することを通して、加減計算についての理解を深め、計算の仕方を数や式をよく見て考える力を養うとともに、計算法則、数の見方や構成を活用して計算方法を考えた過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	○加法の結合法則や( )の使い方を理解するとともに、簡潔な加減法の暗算ができる。	○( )の中を1つの数とみて、式の意味を考え表現したり場面を式にあらわしたりするとともに、3口の数の加法計算について、数量の関係に着目し、結合法則などを基に工夫して計算している。	○加減の計算方法について、計算法則、数の見方や構成を活用して考えた過程や結果を振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
9. ひっ算のしかたを考えよう[たし算とひき算のひっ算]	○既習の筆算を基に、2位数の加法及びその逆の減法の筆算の仕方について理解し、筆算の仕方を図や式を用いて考える力を養うとともに、計算方法を数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	○2位数の加法及びその逆の減法の計算について、1位数などの基本的な計算を基にできることを知り、それらの筆算の仕方について理解し、筆算の手順を基に確実に計算することができる	○既習の筆算を基に、数の仕組みに着目し、2位数の加法及びその逆の減法の筆算の仕方を、図や式などを用いて考え表現している。	○2・3位数の加減の筆算の仕方について、図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。

単元名	単元の到達目標 (小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
10. さんかくやしかくの形をしらべよう [長方形と正方形]	○平面図形に進んで関わり、図形についての感覚を豊かにしながら、三角形、四角形、などの構成要素をとらえそれらの意味や性質を理解し、図形を構成する要素に着目して捉える力を養うとともに、それらを今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	○三角形や四角形、直角、長方形、正方形、直角三角形の意味や性質を理解するとともに、紙を折って直角をつくったり、長方形や正方形などを作図したりすることができる。	○辺や頂点など図形を構成する要素に着目し、三角形や四角形、直角、長方形、正方形などの特徴を見だし、説明している。	○身の回りにあるものの形の中から、三角形や四角形、直角、長方形、正方形などを見つけ図形としてとらえ、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気付き今後の生活や学習に活用しようとしている。
11. 新しい計算を考えよう[かけ算(1)]	○乗法の意味について理解し、計算の意味や計算の仕方を考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりする力を養うとともに、計算方法などを数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、そのよさに気付き今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	○乗法が用いられる場合や乗法九九について知り、乗法の意味や乗法に関して成り立つ性質(乗数が1ずつ増えるときの積の増え方や交換法則)を理解し、乗法が用いられる場面を絵や図、言葉、式で表したり、乗法九九(5.2.3.4の段)を構成し、確実に唱えたりすることができる。	○数量の関係に着目し、累加の考えや乗数と積の関係などを基に、乗法九九の構成の仕方を考え表現している。	○数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理や乗法のよさに気付き今後の生活や学習に活用しようとしている。
12. 九九をつくろう [かけ算(2)]	○乗法の意味について理解を深め、計算の意味や計算の仕方を考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりする力を養うとともに、計算方法などを数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、そのよさに気付き今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	○乗法九九について知り、乗法に関して成り立つ性質を確実にするとともに、乗法が用いられる場面を絵や図、言葉、式で表したり、乗法九九(6.7.8.9の段)を構成し、確実に唱えたりすることができる。	○数量の関係に着目し、乗法について成り立つ性質や決まりを用いて、乗法九九の構成の仕方を考え工夫し、表現している。	○数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理や乗法について成り立つ性質や決まりを用いることのよさに気付き今後の生活や学習に活用しようとしている。

単元名	単元の到達目標 (小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
13. 1000 より 大きい 数を 調べよう [4けたの 数]	○10000 までの数についてその意味や表し方を理解し、数の概念について理解を深め、図や式を用いて考える力を養うとともに、十進位取り記数法の仕組みを数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、そのよさに気付き今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	○4 位数について数の読み方や表し方、数の構成や大小、順序、数の相対的な大きさを理解し、数を書いたり読んだり、数や式の大小・相等関係を、不等号や等号を用いて表したりすることができる。	○数のまとまりに着目し、十進位取り記数法の仕組みを考え表現したり、数を相対的な大きさからとらえたりしている。	○数のまとまりに着目して数を調べた過程や結果を振り返り、数理的な処理のよさに気付き今後の生活や学習に活用しようとしている。
14. 長い 長さを はか って あらわそう [長い ものの 長さの たんい]	○長いものの長さの測定などの活動を通して、単位の意味と測定の原理を理解し、単位を用いて的確に表現する力を養うとともに、長さについて量の感覚を身に付け、今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	○長さについて単位と測定の意味や、単位の関係を理解し、およその見当を付け長さの単位を適切に選択して身の回りのものの長さを測定し表現することができる。	○上位単位の必要性に気付き、身の回りのものの特徴を長さに着目して捉え、既習の学習を基に長いものの長さを表す単位について考えている。	○身の回りにあるものの長さに関心を持ち、量の感覚を身に付け、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気付き今後の生活や学習に活用しようとしている。
15. 図を つかって 考 えよう[たし算と ひき算]	○加法と減法の相互関係について理解し、数量の関係に着目し、場面を図に表して構造を捉え、式について考える力を養うとともに、加法と減法の相互関係を数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、そのよさに気付き今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	○加法と減法の相互関係について理解し、加法と減法の相互関係を表した図を用いて、図や式に表し、問題を解決することができる。	○数量の関係に着目し、場面を図に表して構造を捉え、式について考え表現している。	○加法と減法の相互関係に関心を持ち、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気付き今後の生活や学習に活用しようとしている。

単元名	単元の到達目標 (小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
16. 分けた大きさの表 し方を しらべよう [分数]	○ $1/2$ や $1/3$ などの簡単な分数について知り、数とその表現に着目し、分けた大きさの表し方を考える力を養うとともに、具体物や図などを用いて数学的に表現・処理した過程を振り返り、そのよさに気付き今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	○具体物を操作することなどによって、 $1/2$ や $1/3$ などの簡単な分数について知り、いくつかに分けた大きさの1つ分をつくったり、それらの大きさを分数を使って表現したりすることができる。	○分数について、元の大きさと分けた大きさの関係や、分けた大きさはすべて等しいことに着目して考えている。	○具体物や図などを用いて数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気付き今後の生活や学習に活用しようとしている。
17. はこの 形を しらべよう [はこの 形]	○箱の形をしたものを観察したりつくったりする活動を通して、正方形や長方形の面で構成される箱の形をしたものについて理解し、図形を構成する要素に着目してとらえする力を養うとともに、それらを今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	○箱の形をしたものの構成要素について理解し、正方形や長方形を組み合わせたり、ひごなどを用いたりして、箱の形を構成することができる。	○頂点、辺、面などの図形を構成する要素に着目し、箱の形の特徴を見出し、説明している。	○身の回りにあるものの形の中から、箱の形をしたものを見つけ、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気付き今後の生活や学習に活用しようとしている。

教科	算数	学年	第 3 学年
----	----	----	--------

単元名	単元の到達目標 (小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1. 九九を見なおそう [かけ算]	○乗法に関して成り立つ性質や決まりなどの理解を深め、数学的表現を適切に活用して九九の範囲を超える計算の仕方を考える力を養うとともに、乗法の計算方法を数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、そのよさに気付き今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	○乗法に関して成り立つ性質やきまりを理解し、それらを活用して被乗数や乗数が0や10の乗法計算をすることができる。	○乗法に関して成り立つ性質やきまりを理解し、九九の範囲を超える乗法の計算方法を、図や式を用いて考え、表現している。	○九九の範囲を超える乗法の計算方法について、式や図などを用いて考えた過程や結果を振り返り、数理的な処理のよさに気付き今後の生活や学習に活用しようとしている。
2. 時こくと時間のもともめ方を考えよう [時こくと時間のもともめ方]	○秒について知り、時間に関する理解を深めるとともに、数学的表現を適切に用いて時刻や時間の求め方を考える力を養うとともに、それらを日常生活に活用しようとする態度を養う。	○秒について知り、他の時間の単位との関係を理解するとともに、時刻や時間を求めることができる。	○時間の単位に着目し、時間を既習の量と統合的に捉えるとともに、図などを用いて時刻や時間の求め方を考え、説明している。	○時刻や時間に関心をもち、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気付き今後の生活や学習に活用しようとしている。
3. 同じ数ずつ分けるときの計算を考えよう [わり算]	○除法の意味について理解し、九九1回適用の除法計算の仕方を図や式を用いて考える力を養うとともに、除法の計算方法を数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、そのよさに気付き今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	○除法が用いられる場合や除法と乗法などとの関係について知り、除法の意味について理解するとともに、除法計算をすることができる。	○数量に関係に着目し、等分除と包含除を除法として統合して捉えるとともに、具体物や図、式を用いて計算の仕方を考え表現している。	○除法の意味や計算方法について、式や図などを用いて考えた過程や結果を振り返り、数理的な処理のよさに気付き今後の生活や学習に活用しようとしている。

単元名	単元の到達目標 (小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4. 大きい数の筆算を考えよう [たし算とひき算の筆算]	○3～4 位数の加減法の筆算の仕方を理解しその技能を身に付け、既習の数の見方や筆算の仕方を活用して筆算の仕方を考える力を養うとともに、筆算の仕方をまとめる過程を振り返り、既習と統合的に捉えようとしたり今後の学習に生かそうとしたりする態度を養う。	○3～4 位数の加減計算は、2 位数などの基本的な計算を基にしてできていることを理解し、それらを計算することができる。	○数の見方に着目し、2～3 位数の場合の筆算の仕方を活用して 3～4 位数の加減法の筆算の仕方を図や式などを用いて考え表現し、筆算の仕方を一般化している。	○3～4 位数の加減法の筆算の仕方を、図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り、数理的な処理のよさに気付き今後の生活や学習に活用しようとしている。
5. 長い長さをはかって表そう [長いものの長さのはかり方と表し方]	○量の単位や測定について理解し適切に単位を用いて長さを表したり、およその見当を付けて計器を適切に選択して測定したりすることができるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して既習の単位を含めた単位の間関係を統合的に考える力を養うとともに、身に回りのものの長さを測定した過程を振り返り、量感覚を身に付け、学習に生かそうとする態度を養う。	○長さの単位(キロメートル(km))や測定の意味を理解し、長さについての豊かな感覚をもつとともに、それらを活用して適切に長さを単位で表したりおよその見当を付け適切な単位や計器を選択して測定をすることができる。	○身の回りのものの特徴や任意の単位に着目し、測定の方法や単位の関係について説明している。	○長さについての単位や測定を用いて身の回りのものの長さを測ったり、既習の単位との関係について考えたりしたことを振り返り、数理的な処理のよさに気付き今後の生活や学習に活用しようとしている。
6. 数をよく見て暗算で計算しよう [暗算]	○2 位数同士の加減法の暗算について理解し、計算することができるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して暗算の仕方を考える力を養うとともに、計算した過程を振り返り、学習に生かそうとしている。	○被減数が 100 の加減法の暗算や 2 位数同士の加減法を暗算で計算することができる。	○数の構成や加減法に関して成り立つ性質に着目して、暗算による計算の仕方を工夫して考え、表現している。	○2 位数同士の加減法を暗算で計算したことを振り返り、数理的な処理のよさに気付き今後の生活や学習に活用しようとしている。

単元名	単元の到達目標 (小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
7. わり算を考えよう [あまりのあるわり算]	○割り切れない場合の除法や余りについて理解し、計算することができるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して、除法の意味や計算の仕方を具体物や図、式を用いて表す力を養うとともに、問題場面における数量の関係に着目し、数学的に処理した過程を振り返り、今後の学習や日常生活に活用しようとする態度を養う。	○割り切れない場合の除法 割り切れない場合の除法の計算や余りと除数の大小関係について理解し、それらを活用して数量の関係を捉えることができる。	○数量の関係に着目し、 割り切れる場合とわりきれない場合の情報を統合して捉え、除法の意味や計算に成り立つ性質について考え、説明している。	○日常生活の問題を解決した過程や得られた結果を吟味したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
8. 10000 より大きい数を調べよう [大きい数のしくみ]	○万の単位や 1 億までの整数について知り、十進位取り記数法や 4 桁区切りによる命数法(万進法)を基に、大きな数の読み方や計算の仕方を考えるとともに、整数の表し方について数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、今後の学習や日常生活に活用しようとする態度を養う。	○万の単位や 1 億までの整数を知り、十進位取り記数法についての理解を深めるとともに、10 倍、100 倍、1000 倍、1/10 にした数や数の相対的な大きさを不等号を用いて表す方法を理解している。	○整数のしくみや表し方に着目し、万の単位を用いた整数のしくみについて類推して考え、大きな数の大小の比べ方や表し方を統合的に捉え説明している。	○1 億までの数のしくみや表し方について、統合的に捉えた過程や結果を振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
9. 大きい数のかけ算のしかたを考えよう [かけ算の筆算(1)]	○2 位数や 3 位数に 1 位数をかける乗法の計算の仕方について理解し、確実に計算することや成り立つ性質について理解することができるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して、乗法の成り立つ性質を活用したり、計算を確かめたりするとともに、計算した過程を振り返り、学習に生かそうとしている。	○2～3 位数×1 位数の乗法の筆算の仕方を理解し、それらを活用して計算することができる。	○数の構成や既習の乗法計算に着目し、2～3 位数×1 位数の筆算について考え、説明している。	○2～3 位数×1 位数の筆算について、乗法九九などの基本的な計算を基に考えたことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。

単元名	単元の到達目標 (小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
10. わり算や分数を考えよう [大きい数のわり算、分数とわり算]	○簡単な場合について、除数が1位数で商が2位数の除数の計算や分数と除法の関係について理解し、計算ができるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して、計算方法や問題場面における分数の意味について考える力を養うとともに、既習の計算方法や分数を除法としてみた過程を振り返り、学習にいかそうとする態度を養う。	○簡単な場合の2位数÷1位数の計算の仕方について説明している。 ○分数で表されている場面を適切に捉え、除法の計算を用いて答えを求めることができる。	○既習の計算の仕方やテープ図などを用いて、数の構成に着目して簡単な場合の2位数÷1位数の計算の仕方について考え、説明している。 ○等分することや分数の意味に着目して、分数で表された数を除法を用いて計算することを考え、説明している。	○簡単な場合の2位数÷1位数の計算の仕方を既習の除法計算などを基に考えた過程を振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。 ○分数と除法の関係やもとの数と分数の関係を考えた過程を振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
11. まるい形を調べよう [円と球]	○円や球の構成する要素や性質について理解しコンパスを用いた作図や長さを測り取ることができるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して構成の仕方や身の回りのものを円や球として考える力を養うとともに、図形をかいたり確かめたりする活動を振り返り、学習に生かそうとしている。	○円の中心や半径、直径について理解し、円に関連して球の直径などを理解し、それらを活用してコンパスで円をかいたり、等しい長さを測り取ったりすることができる。	○円や球を構成する要素に着目し、構成の仕方について考えたり、身の回りのものに図形の性質がどのように活用されているかを考えたり、説明している。	○円や既習の図形の作図を基に模様をかくなどの活動を通して、身の回りから円や球を見つけたり、図形の持つ美しさに関心を持ったりしたことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
12. 数の表し方や仕組みを調べよう [小数]	○小数の意味や表し方について理解し、加法や減法の計算ができるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して小数の表し方や仕組み、計算の仕方を考えるとともに、身の回りにある小数で表された数の意味について振り返り、日常生活に生かそうとしている。	○端数部分の大きさを表す際に小数を用いることや小数の仕組みについて理解し、それらを活用して1/10の位までの小数の加減の計算をすることができる。	○数の表現や数のまとまりに着目し、小数は整数の十進位取り記数法を拡張したものと捉え、小数を含む数の大小関係や加減の計算方法について考え、説明している。	○小数の表し方や意味や加減計算の仕方について、図や式などの数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。



単元名	単元の到達目標 (小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
13. 重さをはかって表そう [重さのたんいとはかり方]	○重さの単位と測定について理解し、適切に重さの測定や表し方の選択ができるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して身の回りのものの重さや重さの単位を統合的に考える力を養うとともに、重さの表し方について考えた過程を振り返り、日常生活に生かそうとする態度を養う。	○重さについて、単位や単位間の関係を理解し、およその見当をつけ、適切な計器を選んで測定することができる。	○身の回りのものの重さやその単位に着目し、量感や単位の間関係を統合的に考え、説明している。	○身の回りにあるものの重さや数値化することのよさ、普遍単位の必要性を振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
14. 分数を使った大きさの表し方を調べよう [分数]	○分数の意味や分数を用いた大きさの表し方を理解し、それらを用いて分数の加法及び減法の計算をすることができるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して分数での端数の表し方や小数との関係を考える力を養うとともに、分数の仕組みを用いて考えた過程を振り返り、学習に生かそうとしている。	○端数部分の大きさを表す数や大きさを表す数としての分数やその表し方を理解し、それらを活用して分数の加法及び減法の計算や1/10の位までの小数と分母が10の分数の関係について理解する。	○分数は単位量をn等分した1こ分を任意の単位としていることに着目して、数の大きさを比べたり、計算したりする方法を考え、説明している。	○分数を用いることで、整数では表すことのできない等分してできる部分の大きさや端数部分の大きさを表せるようになることを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
15. □を使って場面を式に表そう [□を使った式]	○未知の数量を表す□などの記号を用いて数量の関係を式に表すことについて理解し、数量の関係を式に表したり、□などの記号に数を当てはめて調べたりすることができるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して数量の関係を簡潔に表したり、式の意味を読み取ったりする力を養うとともに、数量の関係を表す式を考察した過程を振り返り、学習に生かそうとしている。	○数量の関係を表す式に未知の数量を表す□などの記号を用いることを理解し、それらを活用して問題場面を式や図に表したり、式の意味を読み取って問題場面を考え、□に当てはまる数の調べ方を理解したりしている。	○数量の関係や問題場面に着目し、数量の関係を図や式を用いて簡潔に表したり、式と図を関連付けて読み取ったりして未知の数量を表す□を用いた式について考え、説明している。	○未知の数量を□などの記号を用いて表すことで、問題場面を式や図に表せることのよさを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。

単元名	単元の到達目標 (小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
16. かけ算の筆算を考えよう [かけ算のひっ算(2)]	○2位数や3位数に2位数をかける乗法の計算について理解し、確実に計算することや成り立つ性質について理解することができるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して、乗法の成り立つ性質を活用したり、計算を確かめたりするとともに、計算した過程を振り返り、学習に生かそうとしている。	○2～3位数×1位数の乗法の筆算の仕方を利用して、2～3位数×2位数の乗法の筆算を計算することができる。	○数の構成や既習の2～3位数×1位数の筆算の仕方に着目し、2～3位数×2位数の筆算について考え、説明している。	○2～3位数×2位数の筆算について、既習の筆算の計算方法を基に考えられたことを振り返り、数理的な処理のよさに気付き今後の生活や学習に活用しようとしている。
倍の計算	○基準量や倍の意味について理解し、それぞれ答えを求めることができるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して演算決定や数量の関係を考える力を養うとともに、二つの数量の関係を考察した過程を振り返り、学習に生かそうとしている。	○倍の意味を理解し、問題場面に応じてテープ図や口を用いた式などを用いながら、答えを求めることができる。	○基準量や数量の関係に着目し、倍の意味や計算方法について考え、説明している。	○基準量や倍について考えた過程を振り返り、数理的な処理のよさに気付き今後の生活や学習に活用しようとしている。
17. 三角形を調べよう [三角形と角]	○作図などを通して二等辺三角形や正三角形の関係や角について理解し、図形の特徴を捉えることができるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して図形を構成する要素や構成の仕方考える力を養うとともに、図形の要素に着目し、図形を考察した過程を振り返り、学習に生かそうとする態度を養う。	○作図などの活動を通して、二等辺三角形や正三角形、角の大きさについて知り、それらを活用して基本的な図形の性質や構成する要素を理解している。	○図形を構成する要素に着目し、図形の構成の仕方を考えるとともに、基本的な図形の性質について考え、説明している。	○辺の長さや角の大きさなどの図形を構成する要素に着目し、学習を通して身の回りのものの形を図形としてとらえたことを振り返り、図形の敷き詰めなどの作図に関心を持ち、数理的な処理のよさに気付き今後の生活や学習に活用しようとしている。

単元名	単元の到達目標 (小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
18. わかりやすく整理して表そう [棒グラフと表]	○日常の事象について、観点別にデータを分類整理することについて理解し、表や棒グラフに表したり読んだりすることができるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して表やグラフから見出したことを考察する力を養うとともに、データを整理し考察した過程を振り返り、今後の学習や日常生活に生かそうとする態度を養う。	○日時や場所などの観点別にデータを分類整理することを理解し、それらを活用して表やグラフから項目間の関係や集団の持つ全体的な特徴を読み取ったりすることができる。	○目的に応じたデータを整理する観点に着目し、身の回りの事象について表やグラフを用いて考察したり、見出したことをわかりやすく表したりすることについて考え、説明している。	○データを分類整理したり、それらを基に身の回りの事象について考察したりした過程を振り返り、数理的な処理のよさに気付き今後の生活や学習に活用しようとしている。
そろばん	○そろばんによる数の表し方について理解しそろばんを用いて簡単な加法及び減法の計算ができるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して大きな数や小数の仕組みを考える力を養うとともに、計算の過程を振り返り、学習に生かそうとしている。	○そろばんを用いた加減計算の仕方を理解し、それらを活用して簡単な加減計算をすることができる。	○そろばんの仕組みや十進位取り記数法の仕組みに着目し、数の入れ方や払い方を考え、説明している。	○そろばんの仕組みと十進数の仕組みを振り返り、数理的な処理のよさに気付き今後の生活や学習に活用しようとしている。

教科	算数	学年	第 4 学年
----	----	----	--------

単元名	単元の到達目標 (小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1. 1 億より大きい数を調べよう [大きい数のしくみ]	○億や兆の単位について知り、十進位取り記数法や 4 桁区切りによる命数法(万進法)に基づき大きな数の読み方や計算の仕方を考えとともに、整数の表し方に関わる数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、そのよさに気づき今後の学習や日常生活に活用しようとする態度を養う。	○億や兆の単位を知り、十進位取り記数法についての理解を深めるとともに、10 倍や 1/10 にした数、被乗数と乗数が 3 位数の整数の乗法計算をすることができる。	○整数の仕組みや表し方に着目し、億や兆の単位を用いた整数の仕組みについて類推して考え、大きな数同士の大きさの比べ方や表し方を統合的に捉え説明している。	○億や兆の仕組みや表し方について、統合的に捉えた過程や結果を振り返り、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。
2. グラフや表を使って調べよう [折れ線グラフと表]	○折れ線グラフの特徴や使い方、分類整理の方法について理解し、それらを活用して資料を折れ線グラフに表したり読み取ったりするとともに、数学的表現を適切に活用して資料の特徴や傾向に着目し、問題解決のためのグラフを選択・判断することを通し、結論について考察する力を養うとともに、資料を折れ線グラフに表し、問題解決のために情報を読み取り、考えた過程を振り返り、日常生活に生かそうとする態度を養う。	○折れ線グラフの特徴や使い方、資料を二次元表による分類整理をすることを理解し、それらを活用して資料を折れ線グラフに表したり、それを読み取ったりすることができる。	○資料を目的に応じて分類整理し、それらの特徴や傾向に着目して問題解決に適切なグラフを選択して判断し、結論について考え、説明している。	○問題解決の過程や資料を分類整理した結果、折れ線グラフを活用した過程を振り返り、多面的に捉え検討してより良いものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。
3. わり算のしかたを考えよう	○2～3 位数を 1 位数でわる除法計算について理解し、その計算が確実に	○既習の乗法九九を 1 回用いて商を求める計算及び簡単な	○数量の関係に着目し、計算の仕方を考えたり、除法に関	○2～3 位数を 1 位数の除法の計算方法を、既習の基本的な

[わり算の筆算(1)ーわる数が1けた]	できるようにするとともに、除法に関して成り立つ性質を活用して計算を工夫したり計算の確かめをしたりする力を養うとともに、既習の基本的な計算を基に考えた過程を振り返り、今後の学習に生かそうとする態度を養う。	2位数を1位数で割る計算の方法を活用し、2～3位数÷1位数の計算をすることができる。	して成り立つ性質を見出したりしたことをについて考え、説明している。	計算を基に考えたことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。
---------------------	---	--	-----------------------------------	--

単元名	単元の到達目標 (小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4. 角の大きさの表し方を調べよう [角の大きさ]	○角の大きさについて単位と測定の意味について理解し、角の大きさを測定したり角をかいたりできるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して角の大きさや図形について考察する力を養うとともに、角を測定した経験を振り返り、学習に生かそうとする態度を養う。	○角の大きさを回転の大きさとして捉えることを理解し、それらを活用して角の大きさの単位(度 $^{\circ}$ )や分度器を用いて角の大きさを測定したり、必要な大きさの角をつくったりすることができる。	○図形の角の大きさに着目し、角の大きさについての表現や三角形などの図形を考察し、説明している。	○分度器を用いて角の大きさを測定するなどの数学的活動を振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。
5. 小数のしくみを調べよう [小数のしくみ]	○小数の意味や表し方について理解し、加法や減法の計算をすることができるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して小数の仕組みや計算の方法を考えるとともに、十進位取り記数法を基に整数や小数の仕組みを考えた過程を振り返り、日常生活に生かそうとする態度を養う。	○1/100の位、1/1000の位の小数の表し方や仕組みについて理解し、それらを活用して加法や減法の計算をすることができる。	○1/10未満の数のしくみや数を構成する単位に着目し、小数の加法や減法の計算の仕方、数の相対的な大きさについて考え、説明している。	○1/10未満の小数の表し方及び加法や減法の計算の仕方について、十進位取り記数法のよさや整数や小数の仕組みと関連付けて考えた過程を振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。

単元名	単元の到達目標 (小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
そろばん	○そろばんの仕組みについて理解し、加法及び減法の計算ができるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して大きな数や小数の仕組みを考える力を養うとともに、そろばんの仕組みを考えた過程を振り返り、学習に生かそうとする態度を養う。	○そろばんの仕組みを活用して億や兆の大きい数や小数の加法及び減法の計算をすることができる。	○十進位取り記数法に着目し、そろばんを用いて計算する方法を考え、説明している。	○そろばんの仕組みを数のしくみを振り返り、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしている。
6. わり算の筆算を考えよう [わり算の筆算(2)－わる数が2けた]	○2～3位数を2位数でわる除法計算について理解し、その計算が確実にできるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して計算を工夫したり計算の確かめをしたりする力を養うとともに、基本的な計算を基に考えた過程を振り返り、今後の学習に生かそうとする態度を養う。	○既習の除法の筆算の仕方や数のまとまりを用いて2～3位数を2位数で割る除法の計算を求めることができる。	○数量に関係に着目して、2～3位数を2位数でわる除法の計算の仕方を考え、説明している。	○2～3位数÷2位数の除法の計算方法を、既習の除法の計算を基に考えたことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。
倍の見方	○ある二つの数量の関係と別の二つの数量の関係とを比べる場合に割合を用いる場合があることについて理解し、簡単な場合について割合を求めることができるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して二つの数量同士の関係の比べ方を考える力を養うとともに、割合を用いて比べた過程を振り返り、学習に生かそうとする態度を養う。	○簡単な場合についての割合を活用して、ある二つの数量の関係と別の二つの数量の関係とを比べることができる。	○日常の事象における数量の関係に着目し、ある二つの数量の関係と別の二つの数量の関係について割合を用いて考え、説明している。	○簡単な場合について、割合を用いて比べたことを振り返り、よりよいものを求めて粘り強く考えたり、学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。

単元名	単元の到達目標 (小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
7. およその数の使い方と表し方を調べよう [がい数の使い方と表し方]	○概数について理解し、概数を用いたり四捨五入や四則計算の結果の見積もりをしたりすることができるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して目的にあった数の処理の仕方を考える力を養うとともに、概数を用いて考えた過程を振り返り、日常の事象に生かそうとする態度を養う。	○概数の用いられる目的や四則計算の見積もりの仕方を理解し、それらを活用して目的に応じて用いることができる。	○日常の事象における場面において、数の処理の仕方に着目し、目的に応じて数进行处理するよさについて考え、説明している。	○日常の事象において、目的に応じて数进行处理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。
8. 計算のやくそくを調べよう [計算のきまり]	○計算の順序に関するきまりを理解し、四則に関して成り立つ性質について理解を深めることができるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して数量の関係を表す式について考える力を養うとともに、問題場面の数量関係について考えた過程を振り返り、学習に生かそうとする態度を養う。	○四則の混合した式や( )を用いた式、公式について理解し、それらを活用して(■や▲などの)記号で数量の関係を表すことができる。	○問題場面の数量の関係に着目し、簡潔に表現したり一般的に表現したりすることについて考え、説明している。	○( )を用いて1つの式に表すと数量の関係を簡潔に表すことができるなどのよさを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。
9. 四角形の特ちょうを調べよう [垂直、平行と四角形]	○直線の位置関係や四角形の構成について理解し、図形についての見方や感覚を豊かにするとともに、数学的表現を適切に活用して図形の構成の仕方考える力を養うとともに、図形の性質を考察した過程を振り返り、日常生活に生かそうとする態度を養う。	○直線の平行や垂直の関係を理解し、それらを活用して平行四辺形やひし形、台形について理解している。	○辺の位置関係や構成要素に着目して、様々な四角形の性質を見出し表現したり、四角形の対角線の特徴を統合的に考えたり、説明している。	○身の回りから直線の平行や垂直の関係、様々な四角形を見つけることで学習内容を振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。

単元名	単元の到達目標 (小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
10. 分数をくわしく調べよう [分数]	○分数とその計算について理解し、同分母分数の加法及び減法の計算ができるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して数を構成する単位について考える力を養うとともに、分数とその加法及び減法の計算方法について考えた過程を振り返り、学習に生かそうとする態度を養う。	○分数の意味や表し方、その加法及び減法の計算方法について理解し、1より大きい分数を仮分数や帯分数で表したり、簡単な場合について同値分数があることを説明したりすることができる。	○数を構成する単位分数に着目し、同値分数や分数の加法及び減法の計算方法を考え、説明している。	○1より大きい分数を仮分数や帯分数で表すことよさや分数を単位分数の個数で捉え、加法及び減法の計算方法を考えた過程を振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。
11. どのように変わるかを調べよう [変わり方調べ]	○伴って変わる二つの数量について、表を用いて調べたり式に表したりすることができるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して変化や対応の特徴について考える力を養うとともに、二つの数量について考察した過程を振り返り、学習に生かそうとする態度を養う。	○伴って変わる二つの量の関係を、表を用いて変化や対応の特徴を調べたり、□や○などを用いて式に表したりすることができる。	○伴って変わる二つの量の関係に着目して、表や式を用いて変化や対応の特徴について考え、説明している。	○主体的に問題解決に取り組むとともに、関係を表で調べることよさや関係を□や○などを用いた式に簡潔に表せることよさを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。
12. 広さの表し方を考えよう [面積のはかり方と表し方]	○平面図形の面積に関する単位について理解し正方形や長方形の面積を計算して求めることができるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して面積の求め方や面積の単位と既習の単位との関係について考える力を養うとともに、単位面積を基に考察した過程を振り返り、学習に生かそうとする態度を養う。	○面積の単位について理解し、それらを活用して正方形や長方形の面積を求められることやその求め方、面積の単位間を理解するとともに、面積についての量感を身に付けている。	○量や乗法の学習を基に、単位面積や図形の構成要素に着目して、単位面積の何こ分かて数値化することや辺の長さを用いて面積を求めることについて考え、説明している。	○面積を数値化して表すことよさや身の回りのものの面積を求めたことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。



単元名	単元の到達目標 (小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
13. 小数のかけ算とわり算を考えよう [小数のかけ算とわり算]	○乗数や除数が整数の場合の小数の乗除計算の仕方について理解し、筆算を用いて計算することができるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して筆算や計算の工夫や考える力を養うとともに、計算の仕方を既習事項を基に考えた過程を振り返り、日常生活や学習に生かそうとする態度を養う。	○既習の乗除の計算の仕方を基に、小数×整数、小数÷整数、整数÷整数で商が小数になる場合の計算の仕方を理解し、計算をすることができる。	○位に着目し、小数×整数、小数÷整数、整数÷整数で商が小数になる場合の計算の仕方を考え、説明している。	○小数×整数、小数÷整数、整数÷整数で商が小数になる場合の計算の仕方を、既習の乗除の計算の仕方を基に考えた過程を振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。
14. 箱の形の特ちょうを調べよう [直方体と立方体]	○立体図形や直方体における直線や平面の関係について理解し説明することができるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して、図形の性質について考える力を養うとともに、図形を構成する要素や位置関係に着目し考察したことを振り返り、学習に生かそうとしている。	○直方体や立方体の特徴や性質、直線や平面の垂直と平行の関係、平面上や空間にあるものの位置の表し方を理解し、それらを活用して展開図や見取り図をかいたり、位置を表したりすることができる。	○立体図形の構成要素や位置関係に着目して、直方体や立方体の特徴や性質を考え表現したり、直方体に関連づけて、直線や平面の垂直や平行の関係、ものの位置の表し方を捉えたり説明している。	○図形について、構成する要素や位置関係に着目して捉えたことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。

教科	算数	学年	第 5 学年
----	----	----	--------

単元名	単元の到達目標 (小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1. 整数と小数のしくみを まとめよう [整数と小数]	○整数及び小数の表し方についての理解を深め、数学的表現を適切に活用して数の表し方の仕組みを考える力を養うとともに、十進数としての特徴を統合的に捉えようとしたり、そのよさに気づき今後の学習や日常生活に生かそうとしたりする態度を養う。	○整数及び小数について、10倍、100倍、1000倍（ $1/10$ 、 $1/100$ 、 $1/1000$ ）したときの位や小数点の移動の仕方を理解し、それらの大きさの数をつくることができる。	○数の表し方に着目し、整数及び小数について十進数として統合的に捉えるとともに、整数及び小数十進位取り記数法をもとに図や式を用いて計算の仕方を考え表現している。	○整数及び小数の十進数としての特徴について統合的に捉えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。
2. 直方体や立方体のかさの表し方を考えよう [直方体や立方体の体積]	○立体の体積について理解し、立体を構成する要素に着目して体積の求め方を考える力を養うとともに、体積の求め方を数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、多面的に粘り強く考えたり、今後の生活や学習に活用しようとしたりする態度を養う。	○体積の単位を知り、立方体及び直方体の体積の計算による求め方について理解するとともに、体積を求めることができる。	○体積の単位や立体を構成する要素に着目し、立体の体積の求め方を考えるとともに、体積の単位とこれまでの学習した単位との関係を統合的に捉え、説明している。	○立体の体積の単位や体積の求め方について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してより良いものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。
3. 変わり方を調べよう [比例]	○簡単な場合の比例の関係について理解し、伴って変わる二つの数量やそれらの関係を表を用いて考える力を養うとともに、伴って変わる二つの数量の変化や対応の特徴を数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に生かそうとする態度を養う。	○簡単な場合について比例の関係があることを知り、表を用いて比例の関係を見出すことができる。	○伴って変わる二つの数量の関係に着目し、表を用いて比例の関係を捉え、説明している。	○簡単な場合の比例の関係について、表を用いて考えた過程を振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。

単元名	単元の到達目標 (小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4. かけ算の世界を広げよう [小数のかけ算]	○乗数が小数の場合の乗法の意味について理解し、その計算の仕方を図や式を用いて考える力を養うとともに、乗数が小数の場合の乗法の計算の仕方を乗法の性質や数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、乗法の意味を捉えなおしたり今後の生活や学習に活用しようとしたりする態度を養う。	○乗数が小数の場合の乗法の意味や、小数の乗法についても整数の場合と同じ関係や法則が成り立つことを理解するとともに、乗数が小数の場合の乗法の計算ができる。	○乗法の意味に着目し、乗法の性質を活用して、乗数が小数の場合の乗法の計算の仕方を図や式などを用いて考え表現している。	○乗数が小数の場合の乗法の意味を捉えなおしたり、その計算方法について図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。
5. わり算の世界を広げよう [小数のわり算]	○除数が小数の場合の除法の意味について理解し、その計算の仕方を図や式を用いて考える力を養うとともに、除数が小数の場合の除法の計算の仕方を除法の性質や数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、除法の意味を捉えなおしたり今後の生活や学習に活用しようとしたりする態度を養う。	○除数が小数の場合の除法の意味について理解するとともに除数が小数の場合の除法の計算ができる。	○除法の意味に着目し、除法の性質を活用して、除数が小数の場合の除法の計算の仕方を図や式などを用いて考え表現している。	○除数が小数の場合の除法の意味を捉えなおしたり、その計算方法について図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。
小数の倍	○既習の倍の意味をもとに基準量や比較量が小数の場合の倍の意味について理解し、倍の意味を図や式を用いて考える力を養うとともに、整数と小数の倍の意味を統合的に捉えたりこれまでの倍の学習を生活や学習にいかそうとしたりする態度を養う。	○基準量や比較量が小数の場合の倍の意味について理解し、説明している。	○2量の関係に着目し、基準量や比較量が小数の場合の倍の意味について図や式などを用いて考え表現している。	○基準量や比較量が小数の場合の倍の意味について、整数倍の意味と統合的に捉えたり、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。

単元名	単元の到達目標 (小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
6. 形も大きさも同じ図形を調べよう [合同な図形]	○図形の合同の意味や合同な図形の性質などについて理解し、図形を構成する要素や図形間の関係に着目して図形の性質について考える力を養うとともに、図形を合同という観点で考察した過程を振り返り、合同の観点から既習の図形を捉え直したり今後の生活や学習に活用しようとしたりする態度を養う。	○図形の形や大きさが決まる要素や図形の合同について理解するとともに、合同な図形を分類したりかいたりすることができる。	○図形を構成する要素や図形間の関係に着目し、合同な図形の性質を見出し、その性質を道筋を立てて説明している。	○合同という観点で既習の図形の性質を見なおしたり、対角線に着目して合同な図形を捉えたりしたことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。
7. 図形の角を調べよう [図形の角]	○三角形や四角形の内角の和について理解し、それを用いて多角形の角の性質を考える力を養うとともに、機能的及び演繹的に考えるよさに気づき、今後の生活や学習に生かそうとする態度を養う。	○三角形の内角の和について理解し、それを基に四角形や他の多角形の内角の和を求めることができる。	○図形の角に着目し、三角形の内角の和についての性質を見出し、それを基に四角形や他の多角形の内角の和について演繹的に考え、説明している。	○三角形の内角の和が $180^\circ$ であることを基に、四角形や他の多角形の性質を考えた過程を振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。
8. 整数の性質を調べよう [偶数と奇数、倍数と約数]	○偶数、奇数及び倍数、約数などについて知り、整数の性質についての理解を深め、観点を決めて整数を類別したり数の構成について考えたりする力を養うとともに、整数を乗法や除法に着目して類別した過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	○偶数、奇数及び倍数、約数について知り、それらの意味について理解するとともに、偶数と奇数を類別したり倍数と約数を求めたりすることができる。	○乗法及び除法に着目し、整数を偶数と奇数の二つの集合に類別して捉えたり、倍数と約数の集合を捉えたりするとともに、整数の性質を図や式を用いて考え表現している。	○整数の性質について、観点を決めて類別したり、倍数と約数の集合を捉えたりした過程や結果を振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。

単元名	単元の到達目標 (小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
9. 分数と小数、整数の関係を調べよう [分数と小数、整数の関係]	○整数の除法の結果を分数で表すこと及び分数と小数、整数の関係について分数の表現に着目してこれまで学習した分数の意味を捉えるとともに、除法の結果を分数で表したり分数と小数、整数の関係について考えたりした過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	○整数の除法は分数を用いると1つの数で表せることや、分数と小数、整数の関係を理解するとともに、 $a \div b$ を $a/b$ 、 $a/b$ を $a \div b$ とみたり、分数を小数で表したり、小数、整数を分数の形になおしたりすることができる。	○分数の表現に着目し、分数を整数の除法の結果として捉えたり、分数と小数、整数の関係を捉えたりするとともに、それらを分数や式を用いて考え表現している。	○整数の除法の結果を分数で表したり、分数と小数、整数の関係を考えたりした過程や結果を振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。
10. 分数のたし算、ひき算を広げよう [分数のたし算とひき算]	○分数の性質や異分母分数の加法及び減法の意味について理解し、通分、約分の仕方や計算の仕方を図や式を用いて考える力を養うとともに、通分、約分の仕方や異分母分数の加減計算の仕方を分数の性質や数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、今後の学習に活用しようとしていたりする態度を養う。	○分数の性質や通分、約分の意味、異分母分数の加法及び減法の意味について理解するとともに、通分や約分、異分母分数の加減計算ができる。	○単位分数に着目して、分数の相当及び大小関係や、異分母の分数の加減計算の仕方を図や式などを用いて考え表現している。	○通分や約分の意味や、異分母分数の加法及び減法の計算の仕方を、図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。
11. ならした大きさを考えよう [平均]	○平均の意味について理解し、測定した結果を平均する方法について図や式を用いて考える力を養うとともに、平均の意味や平均を求める方法を数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	○平均の意味について理解するとともに、測定した結果の平均を求めることができる。	○概括的に捉えることに着目して、測定した結果を平均する方法を図や式などを用いて考え表現している。	○平均の意味や、測定した結果を平均する方法を、図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。

単元名	単元の到達目標 (小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
12. 比べ方を考えよう (1) [単位量当たりの大きさ]	○異種の2量の割合として捉えられる数量について、速さなど単位量あたりの大きさの意味及び表し方について理解し、単位量当たりの大きさを用いた比べ方や表し方について図や式を用いて考える力を養うとともに、単位量当たりの大きさの意味や表し方などを数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、多面的に粘り強く考えたり、今後の生活や学習に活用しようとしたりする態度を養う。	○異種の2量の割合として捉えられる数量について、速さなど単位量あたりの大きさの意味及び表し方について理解し、速さや単位量当たりの大きさを求めたり、比べたりすることができる。	○異種の2量の割合として捉えられる数量の関係に着目し、目的に応じて大きさを比べたり表現したりする方法を図や式などを用いて考え表現している。	○速さや単位量当たりの大きさの意味及び表し方などを、図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。
13面積の求め方を考えよう [四角形と三角形の面積]	○四角形や三角形の面積の求め方を理解し、図形の構成要素に着目して面積の求め方を数学的表現を用いて考える力を養うとともに、四角形や三角形の面積の求め方を考えた過程を振り返り、多面的に粘り強く考えたり、今後の生活や学習に活用しようとしたりする態度を養う。	○平行四辺形、三角形、台形、ひし形などの面積の求め方を理解し、公式を用いて面積を求めることができる。	○平行四辺形、三角形、台形、ひし形などの構成要素や性質に着目し、既習の面積の求め方を基にして、図や式を用いて面積の求め方を考え、表現している。	○平行四辺形、三角形、台形、ひし形などの面積を、図や式などの数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。
14. 比べ方を考えよう (2) [割合]	○2つの数量の関係について、割合で比べる場合があることや、その表し方についての百分率を理解し、割合を用いた比べ方や百分率の表し方について図や式を用いて考える力を養うとともに、割合を用いた比べ方や百分率の表し方などを数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、多面的に粘り強く考えたり、今後の生活や学習に活用しようとしたりする態度を養う。	○2つの数量の関係について、割合を用いた比べ方や百分率の表し方などを理解し、割合を用いて比べたり、割合や百分率を求めたりすることができる。	○2つの数量の関係に着目し、倍の意味を基に、割合を用いた比べ方や表し方を図や式などを用いて考え表現している。	○2つの数量の関係の比べ方や表し方などを、図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。

単元名	単元の到達目標 (小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
15. 割合をグラフに表して調べよう [帯グラフと円グラフ]	○円グラフと帯グラフの特徴とそれらの使い方や、統計的な問題解決の方法について理解し、目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して判断し、その結論について多面的に捉え考察する力を養うとともに、統計的な問題解決の方法について数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、多面的に粘り強く考えたり、今後の生活や学習に活用しようとしたりする態度を養う。	○円グラフと帯グラフの特徴とそれらの使い方や、データの収集や適切な手法の選択などを理解し、統計的な問題解決をすることができる。	○目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して判断し、その結論について多面的に捉え考察している。	○統計的な問題解決の方法について、数学的に表現・処理した過程や結果を振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。
16. 変わり方を調べよう(2) [変わり方調べ]	○伴って変わる2つの数量について、表や式、図を用いて変化や対応の特徴を調べたり表したりすることができるようにするとともに、伴って変わる2つの数量を見出して、それらの関係に着目し、表や式、図を用いて変化や対応の特徴について考える力を養うとともに、伴って変わる2つの数量の変化や対応の特徴を数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	○伴って変わる2つの数量について、表や式、図を用いて変化や対応の特徴を調べ、式に表すことができる。	○伴って変わる2つの数量について、表や式、図を用いてその関係を説明している。	○伴って変わる2つの数量について、表や式、図を用いて考えた過程や結果を振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。
17. 多角形と円をくわしく調べよう [正多角形と円周の長さ]	○正多角形の性質や円周率の意味について理解し、図形を構成する要素や図形間の関係に着目し、構成の仕方を考えたり図形の性質を見出したりする力を養うとともに、円と関連させて正多角形の性質を捉えたり、円周率について帰納的に考察したりした過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	○正多角形の性質や円周率の意味について理解し、円を使って正多角形をかいたり、円周率を使って直径や円周の長さを求めたりすることができる。	○図形を構成する要素や図形間の関係に着目し、正多角形の性質を見出したり、円を使った正多角形のかき方を考えたり、円周率が一定であることを捉えたりして、説明している。	○円と関連させて正多角形の性質や書き方を考えたり、円周率について帰納的に考えたりした過程を振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。

単元名	単元の到達目標 (小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
18. 立体をくわしく調べよう [角柱と円柱]	○角柱、円柱の意味や性質について理解し、図形を構成する要素に着目して、図形の性質を見出したり図形の展開図のかき方について考えたりする力を養うとともに、図形を角柱、円柱として考察した過程を振り返り、既習の図形を角柱として捉え直したり、今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	○角柱、円柱の意味や性質について理解し、角柱、円柱の展開図をかいて構成することができる。	○図形を構成する要素に着目し、角柱、円柱の構成要素やそれらの位置関係の性質を見出し、その性質を基に既習の図形を捉え直し、説明している。	○既習の図形を角柱として捉え直したり、角柱、円柱の性質を考察したりした過程や結果を振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。



教科	算数	学年	第 6 学年
----	----	----	--------

単元名	単元の到達目標 (小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1. つり合いのとれた図形を調べよう [対称な図形]	○対称な図形の観察や構成を通してその意味や性質を理解し、図形を構成する要素および図形間の関係に着目し、構成の仕方を考察したり図形の性質を見出したりする力を養うとともに、図形を対称という観点で考察した過程を振り返り、多面的に粘り強く考えたり、今後の生活や学習に活用しようとしたりする態度を養う。	○線対称、点対称な図形の意味や性質について理解し、線対称、点対称な図形をかくことができる。	○図形を構成する要素および図形間の関係に着目し、対称等の観点で既習の図形を見直しその性質を捉えて説明し、図形に対する見方を深めている。	○対称な図形について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してより良いものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。
2. 数量やその関係を式に表そう [文字と式]	○具体的な場面について、数量の関係を文字を用いて式で一般的に表すことを理解し、文字に数を当てはめて調べることができ、数学的表現である式を活用する力を養うとともに、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に粘り強く考えたり、今後の生活や学習に活用しようとしたりする態度を養う。	○数量の関係を言葉や□、○などの代わりに、文字を用いて式に表すことを理解し、数量の関係を文字を用いて式に表したり、式から具体的な場面に表したり、文字に数を当てはめて調べたりすることができる。	○文字にいろいろな数を当てはめられることを基に、数量の関係を文字を用いた式で表すことの簡潔さや一般性について考えている。	○数量の関係を表す式について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してより良いものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。
3. 分数のかけ算を考えよう [分数のかけ算]	○分数×整数、分数÷整数も含めて、分数の乗法の意味について理解し、その計算の仕方を図や式を用いて考える力を養うとともに、計算の仕方を乗法の性質や数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、多面的に粘り強く考えたり、今後の生活や学	○分数の乗法の意味や、分数の乗法についても整数の場合と同じ関係や法則が成り立つことを理解するとともに、分数の乗法の	○乗数が分数の場合の乗法計算の仕方について、乗法の性質や比例の考えを基に考え、数直線や式などを	○乗数が分数の場合の乗法の意味を捉え直したことや、その計算方法について乗法の性質や図や式などを用いて考えた過程を振り返り、多面的に捉え検討してよりよいもの

	習に活用しようとしたりする態度を養う。	計算ができる。	用いて表現している。	を求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。
--	---------------------	---------	------------	--

単元名	単元の到達目標 (小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4. 分数のわり算を考えよう [分数のわり算]	○分数の除法の意味について理解し、その計算の仕方を図や式を用いて考える力を養うとともに、計算の仕方を除法の性質や数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、多面的に粘り強く考えたり、今後の生活や学習に活用しようとしたりする態度を養う。	○分数の除法の意味や、分数の除法についても整数の場合と同じ関係や法則が成り立つことを理解するとともに、分数の除法の計算ができる。	○除数が分数の場合の除法計算の仕方について、除法の性質や比例の考えを基に考え、数直線や式などを用いて表現している。	○除数が分数の場合の除法の意味を捉え直したことや、その計算方法について除法の性質や図や式などを用いて考えた過程を振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。
分数の倍	○既習の倍の意味をもとに基準量や比較量が分数の場合の倍の意味について理解し、倍の意味を図や式を用いて考える力を養うとともに、整数や小数、分数の倍の意味を統合的に捉えたりこれまでの倍の学習を今後の生活や学習に活用しようとしたりする態度を養う。	○基準量や比較量が分数の場合の倍の意味について理解し、説明している。	○2量の関係に着目し、基準量や比較量が分数の場合の倍の意味について図や式などを用いて考え表現している。	○基準量や比較量が分数の場合の倍の意味について、整数倍や小数倍の意味を統合的に捉えたり、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。

単元名	単元の到達目標 (小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
5. 割合の表し方を調べよう [比]	○2つの数量の割合を表す方法として、比について理解し、既習の割合と関連付け、数量の関係の比べ方を考える力を養うとともに、日常の事象を目的に応じて比で捉えることや数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、多面的に粘り強く考えたり、今後の生活や学習に活用しようとしたりする態度を養う。	○比の意味や表し方、比の相等の意味を理解し、2つの量の関係を調べて比で表したり、等しい比をつくったりすることができる。	○日常の事象における数量の関係に着目し、比を用いた関係の比べ方を既習の割合と関連付けて統合的に捉え、割合の適用場面で考え方を工夫している。	○日常の事象を目的に応じて比で捉えたことや数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。
6. 形が同じで大きさがちがう図形を調べよう [拡大図と縮図]	○拡大図や縮図の観察やかくことを通して拡大図、縮図の意味や性質について理解し、図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、構成の仕方を考察したり図形の性質を見出したり力を養うとともに、拡大図や縮図という観点で考察した過程を振り返り、多面的に粘り強く考えたり、今後の生活や学習に活用しようとしたりする態度を養う。	○拡大図、縮図の意味や性質について理解し、対応する辺の長さや角の大きさを求めたり、拡大図、縮図をかいたりすることができる。	○図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、合同の意味や比の考えを基に、拡大図、縮図の意味や性質、作図の仕方について考え説明し、図形に対する見方を深めている。	○既習の図形を捉え直したことや数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。
7. 円の面積の求め方を考えよう [円の面積]	○円の面積の計算による求め方について理解し、図形を構成する要素などに着目し、図形の面積について考える力を養うとともに、円の面積の求め方を簡潔かつ的確な表現として公式として導いた過程を振り返り、多面的に粘り強く考えたり、今後の生活や学習に活用しようとしたりする態度を養う。	○円の面積について、求め方や計算で求められることを理解し、円の面積を求める公式を用いて円などの面積を求めることができる。	○図形を構成する要素などに着目し、円などの面積の求め方を図や式を用いて考え、説明している。	○円の面積の求め方を簡潔かつ的確な表現として公式として導いた過程を振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。

単元名	単元の到達目標 (小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
8. 角柱と円柱の体積の求め方を考えよう [角柱と円柱の体積]	○角柱や円柱の体積の計算による求め方について理解し、図形を構成する要素に着目し、図形の体積について考える力を養うとともに、角柱や円柱の体積の求め方を簡潔かつ確かな表現として公式として導いた過程を振り返り、多面的に粘り強く考えたり、今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	○角柱や円柱の体積は底面積×高さにまとめられることを理解し、角柱や円柱の体積を公式を用いて求めることができる。	○図形を構成する要素に着目し、角柱や円柱の体積の求め方について、直方体の体積の求め方から類推し、図や式を用いて考え、説明している。	○角柱や円柱の体積の求め方を簡潔かつ確かな表現として公式として導いた過程を振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。
9. およその面積と体積を求めよう [およその面積と体積]	○身の回りにあるものの形について、その概要を捉えることでおよその面積や体積を求められることを理解し、図形を構成する要素に着目し、面積や体積の求め方を筋道を立てて考える力を養うとともに、既習の面積や体積の学習に基づき概測などを用いて目的に応じて能率よく測定した過程を振り返り、今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	○身の回りにあるものの形について、その概要を捉えることでおよその面積や体積を求められることを理解し、面積や体積を求めることができる。	○図形を構成する要素に着目し、身の回りにあるものの形について、概要を捉えて、およその面積や体積の求め方を筋道を立てて考えている。	○既習の面積や体積の学習に基づき概形などを用いて目的に応じて能率よく測定した過程を振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。
10. 比例の関係をくわしく調べよう [比例と反比例]	○比例や反比例の関係について理解し、伴って変わる2つの数量やそれらの関係に着目し、表や式、グラフを用いて変化や対応の特徴を見出して2つの数量の関係を考察する力を養うとともに、比例や反比例の関係を数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	○比例や反比例の意味や性質、表やグラフの特徴について理解し、比例や反比例の関係にある2つの数量の関係を表や式、グラフに表したり、比例の関係をj用いて問題解決したりすることができる。	○伴って変わる2つの数量を見いだして、それらの関係に着目し、目的に応じて表や式、グラフを用いてそれらの関係を表現して変化や対応の特徴を見出して問題解決に活用している。	○数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。

単元名	単元の到達目標 (小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
11. 順序良く整理して調べよう [並べ方と組み合わせ方]	○ 順列や組み合わせについて、落ちや重なりのないように、起こり得る場合を順序良く整理するための図や表などの用い方を理解し、事象の特徴に着目し、順序よく整理する観点を決めて落ちや重なりなく調べる方法を考察する力を養うとともに、筋道を立てて考えを進めていこうとする態度や、数学的表現を用いて落ちや重なりのないように調べた過程を振り返り、多面的に粘り強く考えたり、今後の生活や学習に活用しようとしたりする態度を養う。	○ 順列や組み合わせについて、落ちや重なりのないように調べるには、ある観点に着目したり、図や表などにかき表したりするとよいことを理解している。	○ 事象の特徴に着目し、順列や組み合わせについて、落ちや重なりのないように図や表を適切に用いたり、名称を記号化して端的に表したりして、順序よく筋道を立てて考えている。	○ 順列や組み合わせについて、図や表などを用いて工夫をしながら、落ちや重なりのないように調べた過程を振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりする。
12. データの特徴を調べて判断しよう [データの調べ方]	○ 代表値の意味や求め方、度数分布表や柱状グラフ、統計的な問題解決の方法について理解し、目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、代表値などを用いて問題の結論について判断したり、その妥当性について考察したりする力を養うとともに、統計的な問題解決の過程について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に粘り強く考えたり、今後の生活や学習に活用しようとしたりする態度を養う。	○ 代表値の意味や求め方、度数分布表や柱状グラフ、目的に応じてデータを収集したり適切な手法を選択したりするなど統計的な問題解決の方法について理解している。	○ 目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、代表値などを用いて問題の結論について判断するとともに、その妥当性について批判的に考察している。	○ 統計的な問題解決の過程について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりする。
13. 算数の仕上げをしよう [算数のしあげ]	○ 6年間の算数の学習を振り返りながら、本単元の学習に取り組みことを通して、数量や図形などについての基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得しこれらを活用して問題を解決するために必要な数学的な数学的思考力、判断力、表現力等を育むとともに、数学のよさに気付き、算数と日常生活との関連についての理解を深め、算数を主体的に生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過	○ 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常の事象を数理的に処理する技能を身に付けている。	○ 日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見出し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり目的に	○ 数学的活動の楽しさや数学のよさに気付き、学習を振り返ってよりよく問題解決しようとしたり、算数で学んだことを生活や学習に活用しようとしたりする。

	程や結果を評価・改善しようとしたりするなど、数学的に考える資質・能力を育成する。		応じて柔軟に表したりする力を身に付けている。	
--	--	--	------------------------	--

単元名	単元の到達目標 (小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
算数卒業旅行	<ul style="list-style-type: none"> <li>○中学校の数学の内容にふれることを通して、算数・数学に関する興味を広げる。</li> <li>○他の国の算数に興味をもち、算数・数学に関する興味を広げる。</li> <li>○和算にふれることを通して、算数・数学に関する興味を広げる。</li> <li>○クイズやパズルを通して、考える楽しさや算数の持っているおもしろさにふれる。</li> </ul>			